



りすぐみだより～分園 1 歳児

R5 年 9 月 1 日発行

残暑が残っていますが、日が少しずつ短くなってきました。先月は感触遊びをたくさんしました。初めての経験で不思議さに夢中になっている子、一方で感触が嫌だと触らない子などもありましたが何度も繰り返すことで楽しさを知っていくようです。今後もいろいろな体験を通して子どもたちが「もう一度やりたい」「もっと遊びたい」と夢中になれる遊びを取り入れていきたいと思ひます。

また先月から本格的にうさぎ組さんと一緒に活動を行ったり給食や午睡を同じ部屋で過ごしています。お姉さん、お兄さんの遊んでいることに興味があるようで、仕切りの上をブロックで電車のように走らせていると同じように遊んだり、お医者さんごっこや保育園ごっこをしていると同じように真似をしている子もいます。また、生活の場面では、一緒に座ってズボンを履いたりする際に、保育者が「お兄さんと同じようにズボンを持って引っぱってみようか」と声を掛けると、引っ張って穿こうしたり、同じ年齢の友だちとは違う刺激を受けているのがみられるようになりました。今後も 2 歳児と過ごしながらお互いに良い刺激になれるように関わっていきたく思ひます。

今月も暑さに留意しながら、体を動かして遊んだり戸外に散歩に出かけたく思ひます。

(今月のねらい)

- ・保育者や友だちと一緒に体を動かして遊ぶ。(くぐる、のぼりおり、ジャンプなど)

(今月の活動予定)

散歩(本町公園、徳石通り南広場)・本園交流

運動遊び(巧技台、はしご)体操・製作(お絵かき・粘土等)

おねがい

エプロンについて

9月4日(月)から午前中のおやつのエプロンを使用しなくなります。

9月4日(月)からは、エプロン2枚、おしぼり3枚を持ってきてください。

食べるのが上手になってきました!

今までは食事をする際に早く食べたい気持ちから手づかみをしたり、うまく食具ですくって食べることが出来ず、食べこぼしが多く見られていた子どもたち。食べることに夢中になるとまだ手で食べることも多いですが、保育者が「フォークで食べてみよう」等と声掛けをすると、食具を使って食べようとする姿が増えてきました。毎日の食事だけではなく、指先を使う遊びを行ってきたことで食具をしっかり握ったり、少しずつ食べ物をすくったりさすのが上手になってきています。また今までは食具が丸柄の食具でしたが、持つ力がしっかりしてきました。今後は月齢や発達に合わせて長柄の食具に移行をして上手持ちの練習したり、午前中のおやつは食べこぼしが少なくなってきたのでエプロンを取るなど食事を進めていきたいと思ひます。